



2023年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年12月14日

上場会社名 株式会社SKIYAKI 上場取引所 東
 コード番号 3995 URL <https://skiyaki.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小久保 知洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 酒井 真也 TEL 03 (5428) 8378
 四半期報告書提出予定日 2022年12月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年1月期第3四半期の連結業績（2022年2月1日～2022年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年1月期第3四半期	1,742	△0.1	150	317.5	162	52103.3	115	154.8
2022年1月期第3四半期	1,743	—	35	—	0	—	45	—

(注) 包括利益 2023年1月期第3四半期 115百万円 (127.6%) 2022年1月期第3四半期 50百万円 (8.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年1月期第3四半期	10.71	10.66
2022年1月期第3四半期	4.21	4.20

(注) 2023年1月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しており、2022年1月期第3四半期は当該会計基準等を遡及適用した後の数値を記載しております。これにより、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年1月期第3四半期	4,089	1,286	31.3
2022年1月期	3,669	1,161	31.5

(参考) 自己資本 2023年1月期第3四半期 1,278百万円 2022年1月期 1,154百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年1月期	—	0.00	—		
2023年1月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年1月期の連結業績予想（2022年2月1日～2023年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,455	5.0	195	101.7	211	123.8	126	4.1	11.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年1月期3Q	10,782,500株	2022年1月期	10,750,500株
② 期末自己株式数	2023年1月期3Q	8,038株	2022年1月期	8,038株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年1月期3Q	10,761,633株	2022年1月期3Q	10,731,889株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により依然として厳しい状況が続いており、未だ収束の見通しも立っておらず、今後の動向は極めて不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、クリエイターに係るファンクラブ（以下「FC」という。）サービス、クリエイターグッズ等のECサービスの提供サービス数を増やし、取引規模を堅調に拡大させて参りました。これらの事業展開により、2022年10月末日現在における当社グループが提供するプラットフォームの有料会員数は、103.1万人（前年同四半期比15.0%増）となっております。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当該会計基準を遡って適用した後の数値で前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較・分析を行っております。

FCサービスは、有料会員より毎月又は毎年受領するファンクラブ会費のうち、当社が受領する手数料を売上高として純額計上するストック型ビジネスであり、当社プラットフォームの中核である「Bitfan Pro」及び「Bitfan」のFCサービスに加え、連結子会社である㈱エンターメディアFCが提供するFCサービスにより構成され、安定的かつ継続的な収入が見込まれるという特性を有しております。当第3四半期連結累計期間においては、サービス数及び有料会員数の増加により、FCサービスの売上高は1,047,035千円（前年同四半期比15.6%増）となりました。

ECサービスは、クリエイターグッズ等のECサイトでの販売代金のうち、当社が受領する手数料を売上高として純額計上するフロー型ビジネスであり、「Bitfan Pro」及び「Bitfan」のECサービスにより構成されており、クリエイターによるツアー実施等の活動の有無により商品の出荷時期及び出荷金額が大きく変動する特性があり、ストック型ビジネスであるFCサービスと比較して、四半期ごとの売上高の変動性が大きくなる傾向にあります。当第3四半期連結累計期間においては、前年同四半期と比較してクリエイターグッズ等のオンラインでの販売が減少したことにより、ECサービスの売上高は506,213千円（同19.5%減）となりました。

その他の売上高は、電子チケットサービスであるSKIYAKI TICKET及びBitfan Passのサービス提供、クリエイターのイベント制作、クリエイターのオリジナルグッズの企画製造販売を行うMD（マーチャンダイジング）サービスの提供、その他上記に含まれないサービスに係るシステム提供等に加え、前連結会計年度においてO2O事業を展開する㈱SKIYAKI LIVE PRODUCTIONを連結の範囲から除いた影響により、189,309千円（同9.7%減）となりました。

その他、前連結会計年度中に実施した本社オフィスの一部解約による地代家賃の減少、支払手数料の減少等の影響により、販売費及び一般管理費が減少しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,742,558千円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益150,127千円（同317.5%増）、経常利益162,071千円（同161,760千円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益115,209千円（同154.8%増）となりました。

なお、当社グループは、報告セグメントを従来「プラットフォーム事業」及び「O2O事業」の2区分としておりましたが、第1四半期連結会計期間より「プラットフォーム事業」の単一セグメントに変更しております。これにより、セグメントごとの経営成績については記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は4,089,433千円となり、前連結会計年度末に比べ420,017千円増加しました。

流動資産については、現金及び預金の増加441,681千円、前払費用（主にプロダクション等へ支払う前払ロイヤリティ）の増加40,761千円、売掛金の減少32,722千円等により、前連結会計年度末に比べ451,997千円増加し、3,575,361千円となりました。

固定資産については、有形固定資産が11,856千円、無形固定資産が259,925千円、投資その他の資産が242,290千円となり、前連結会計年度末に比べ31,980千円減少し、514,071千円となりました。これは主に、長期前払費用の減少21,254千円、繰延税金資産の減少12,128千円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、2,802,445千円と前連結会計年度末に比べ294,861千円増加しました。

流動負債については、預り金の増加671,650千円、契約負債の増加736,867千円、買掛金の減少442,208千円、前受収益の減少553,858千円、1年内返済予定の長期借入金の減少46,728千円等により、前連結会計年度末に比べ358,619千円増加し、2,689,051千円となりました。

固定負債については、長期借入金の減少70,467千円等により、前連結会計年度末に比べ63,757千円減少し、113,394千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ125,155千円増加し、1,286,988千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加115,209千円、譲渡制限付株式の発行による資本金及び資本準備金の増加9,200千円、在外連結子会社に係る為替換算調整勘定の減少181千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第3四半期連結累計期間における連結業績が概ね計画どおりに進捗していることから、2022年9月13日の「2023年1月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,748,321	2,190,003
売掛金	623,458	590,735
商品	544	6,111
前払費用	525,957	566,718
その他	225,297	221,981
貸倒引当金	△215	△188
流動資産合計	3,123,363	3,575,361
固定資産		
有形固定資産	12,087	11,856
無形固定資産	287,473	259,925
投資その他の資産		
投資その他の資産	296,550	304,656
貸倒引当金	△50,059	△62,366
投資その他の資産合計	246,491	242,290
固定資産合計	546,052	514,071
資産合計	3,669,416	4,089,433
負債の部		
流動負債		
買掛金	536,852	94,644
1年内返済予定の長期借入金	150,412	103,684
未払法人税等	5,206	26,987
預り金	944,306	1,615,957
前受収益	553,858	—
契約負債	—	736,867
その他	139,794	110,911
流動負債合計	2,330,431	2,689,051
固定負債		
長期借入金	176,972	106,505
繰延税金負債	179	1,925
株式報酬引当金	—	4,963
固定負債合計	177,151	113,394
負債合計	2,507,583	2,802,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	588,339	593,184
資本剰余金	562,309	567,154
利益剰余金	3,669	118,878
自己株式	△346	△346
株主資本合計	1,153,972	1,278,871
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	181	—
その他の包括利益累計額合計	181	—
非支配株主持分	7,679	8,116
純資産合計	1,161,832	1,286,988
負債純資産合計	3,669,416	4,089,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)
売上高	1,743,818	1,742,558
売上原価	631,750	538,939
売上総利益	1,112,067	1,203,618
販売費及び一般管理費	1,076,105	1,053,491
営業利益	35,962	150,127
営業外収益		
受取利息及び配当金	189	148
受取家賃	8,289	—
持分法による投資利益	—	9,029
債務免除益	—	7,645
その他	1,445	1,891
営業外収益合計	9,924	18,714
営業外費用		
支払利息	2,632	2,136
持分法による投資損失	17,521	—
貸倒引当金繰入額	24,040	2,431
子会社清算損	—	1,952
その他	1,381	250
営業外費用合計	45,576	6,770
経常利益	310	162,071
特別利益		
関係会社株式売却益	45,867	—
貸倒引当金戻入額	—	27,635
持分変動利益	—	9,317
特別利益合計	45,867	36,953
特別損失		
減損損失	35,876	—
事務所移転費用	9,318	—
投資有価証券評価損	—	44,033
臨時損失	—	7,877
特別損失合計	45,194	51,911
税金等調整前四半期純利益	983	147,113
法人税、住民税及び事業税	2,405	17,591
法人税等調整額	△46,360	13,875
法人税等合計	△43,955	31,466
四半期純利益	44,938	115,646
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△281	437
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,220	115,209

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)
四半期純利益	44,938	115,646
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,800	△181
その他の包括利益合計	5,800	△181
四半期包括利益	50,739	115,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,020	115,027
非支配株主に係る四半期包括利益	△281	437

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)

「II 当第3四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおり、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)

当社グループは、「プラットフォーム事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、報告セグメントを従来「プラットフォーム事業」及び「O2O事業」の2区分としておりましたが、第1四半期連結会計期間より「プラットフォーム事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、前連結会計年度において、「O2O事業」を展開する(株)SKIYAKI LIVE PRODUCTIONの株式を一部譲渡し持分法適用の関連会社とするなど、その他子会社及び関連会社の整理を含むグループ再編を実施したことで、当社グループの事業展開、経営資源の配分及び経営管理体制の実態等の観点から報告セグメントについて再検討した結果、「プラットフォーム事業」の単一セグメントとして開示することが、当社グループの経営実態をより適切に反映するものと判断したためであります。

これにより、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。